

権利の大切さ

富岡小学校 六年

まつだ つくも
松田 月雲

（敬称略）

ぼくは、人権の学習や社会科の学習で権利について学習をしました。権利は、ぼくたちが生まれたときからあるもので、家族や先生、地域の人など誰もが平等に権利をもっています。その中には、平和に生きる権利や楽しむ権利があることを知りました。権利の学習をして、ぼくは、権利はすごく大切なものだと考えました。権利はぼくにとって難しい言葉ですが、学びを深める中で、権利はぼくたちの生活と深く関わり合っていることに気づきました。

昔、こんな体験をしたことがあります。ぼくは、よく休日に友達とゲームをして遊んでいます。いつもは二、三人で遊ぶことが多いですが、その日は五、六人で遊びました。その際に、対戦型のゲームで試合をしました。すると、一人余ってしまいました。そこで、誰が試合をしたいか言い合いになりました。言い合いが進み、ある友達がぼくに対して強制的に、

「お前、一番弱いけん、最初みとって。」

と言いました。まあ、一番弱いし、しゃあないか。と笑ってごまかしましたが、心の中では、悲しみやくやしさがこみ上げてきました。なので、ぼくは自分のことをバカにしてきた友達に事情を聞きました。その友達には、

「前に、お前が先におれのことをバカにしてきたんだろ。」

と言われました。ぼくはそれを聞いて、えっと心の中でさげびました。少し落ち着いて、記おくを順にたどっていつても何も思い出せませんでした。ですが、友達からくわしく聞いてみると、以前に遊んだ時に、ぼくがその友達に同じ思いをさせてしまっていたのです。ぼくは友達に、一しよに楽しみたいのに、強制的にメンバーから外された、という辛い思いをさせてしまっていたのだと感じました。

そこで、もう一つ気づいたことがあります。それは、ぼくもその友達も、「仲間と一しよに楽しむ権利」をお互いに知らず知らずのうちにうばってしまっていたということです。

テレビを観ると、世の中では、もっとひどいことが起きています。それは、一人に対して大勢で何回もいやなことをくり返す「いじめ」です。ぼくは、いじめも個人の権利を閉ざすものだと思います。いじめを受けると、「平和に生きること」「仲間と一しよになって笑い合うこと」などの楽し

む権利や幸せに生きる権利が失われます。最悪の場合、自殺にいたることがあります。このような悲さんなニュースが、ぼくの目にひんぱんに飛びこんできます。いじめは、被害者はもちろん、周りで観ている人たちも良い気持ちにはなりません。加害者は「平和に生きる権利」を失わせていることに気づくべきです。SNSなどを利用していじめをする「誹謗中傷」などもあります。どれも人を傷つける最低な行動だと思います。

考えれば考えるほど権利はすぐ大切なものだと感じました。自分の言動が、みなさんの言動が、自分自身の権利や相手の権利を守ったり簡単にうばったりします。世界中の人々が平等に様々な権利をもっています。だからこそ、みんなの権利を守るために、これからは個人の権利を大事にし、思いやりの心をもって、生活していきたいと強く思います。